

(1行空け)

**【作成例1】〇〇幹線水路（開水路）の機能診断調査について**

(1行空け)

**1. 業務概要**

業務の発注者名、業務名等は記載せずに対象施設の整備年、概要及び本業務の目的等を記述すること。また、業務の中で登録更新申請者が果たした役割等を記述すること。

**2. 調査方法**

対象施設の機能診断に有効であった調査方法、課題となった事項に対応するために効果的であった調査方法、検討方法等について、留意事項等も含めて具体的（必要があれば図表等を用いて）に記述すること。

本業務の中で行った調査について全て記載する必要はなく、本レポートのメインとなるものについて記述すること。

**3. 調査結果**

上記の調査等により得られた結果及びその考察等を具体的に記述する。また、調査方法について課題、改善すべき事項等があれば併せて記述すること。

**4. 機能保全計画**

調査結果等に基づき、立案された機能保全計画、機能保全対策工について、考え方（理由等）も含め記述すること。

また、追加補足的に検討すべき事項があれば記述すること。

**5. まとめ**

今後、類似業務に携わった場合を想定し、施設機能総合診断士としてより質の高い業務とするために改善すべき事項、留意すべき事項を記載すること。

(1行空け)

**【作成例2】〇〇診断方法、××探査方法、△△工法について**

(1行空け)

**1. 研修会概要**

どのような研修会であったのか分かるように研修会の名称、主催者、目的、対象者、開催日時等を記述すること。

**2. 〇〇診断方法について**

上記の研修会でいくつかあった講義、発表のうちから、関心を持った講義、発表の内容等について記述する。複数ある場合であっても最大2件とする。

**2.1 選定理由**

この講義、発表をレポートに選定した理由を記述すること。

**2.2 研修内容**

選定した講義、発表について、特に講師が強調した事項、自分が関心を持った事項等を具体的に記述すること。

**3. 今後の課題等**

上記の研修内容について自らの経験等から課題であると考えた事項、説明等が不足であると感じた事項等について記述すること。